

令和6年3月5日

企業アンケート調査結果について

IR室

令和6年1月～2月にかけてキャリア支援センターが実施したアンケート調査結果について報告いたします。

1. アンケート依頼企業数 16社
2. アンケート回答企業数 16社
3. 業種 美容室、化粧品、その他
4. 本学の教育の結果、卒業生に学習成果としての能力資質が身に付いたと考える点
 (「大変身についている」、「身についている」という肯定的評価の割合)

①豊かな教養	93.8%
②確かな専門性	100%
③創造的な感性	93.8%
④社会的な実践力	81.3%
⑤グローバルな視野	56.3%

5. 社会人基礎力として企業が必要と考える能力・資質は
 (「非常に必要」、「必要」と考える企業の割合)

①コミュニケーション能力	100%
②自己理解・主体的行動力	100%
③課題発見・対応能力・企画力・計画力	100%
④創造力・論理的思考	100%
⑤学習習慣・自己啓発	93.8%
⑥コンプライアンス・倫理観・モラル	100%
⑦専門知識・技術	100%
⑧文章表現力・数的処理能力	81.3%
⑨国際感覚・異文化理解力	75.0%
⑩外国語運用力	50.0%
⑪チームワーク・リーダーシップ	100%
⑫一般知識・幅広い教養	100%

6. 本学の教育の結果、卒業生に必要な社会人基礎力が身に ついでいるか
（「大変身についている」、「身についている」という肯定的評価の割合）

①コミュニケーション能力	100%
②自己理解・主体的行動力	100%
③課題発見・対応能力・企画力・計画力	81.3%
④創造力・論理的思考	75.0%
⑤学習習慣・自己啓発	93.8%
⑥コンプライアンス・倫理観・モラル	87.5%
⑦専門知識・技術	93.8%
⑧文章表現力・数的処理能力	68.8%
⑨国際感覚・異文化理解力	43.8%
⑩外国語運用力	31.3%
⑪チームワーク・リーダーシップ	81.3%
⑫一般知識・幅広い教養	87.5%

7. 考察

- (1) 今年は企業 16 社に依頼し、全社から回答を得た。今後とも統計的な信頼性向上の観点からより多くの企業を対象にアンケートを実施することをお願いしたい。
- (2) 企業が求める社会人基礎力は順に 1 位コミュニケーション能力、2 位チームワーク・リーダーシップ、3 位自己理解・主体的行動力、同 3 位コンプライアンス・倫理観・モラル、5 位課題発見・対応能力・企画力・計画力の順であった。
本学の卒業生への評価では、各分野で概ね肯定的評価をいただいております、企業が必要と考える社会人基礎力に近いレベルに達しているという印象。
（別紙社会人基礎力のグラフご参照……企業が必要と考える社会人基礎力（赤線）と本学卒業生の身に付いている社会人基礎力（青線）はかなり近似のレベル）
ただし、個別項目を見ると改善すべき余地があり、一段の指導強化が必要。
特にチームワーク・リーダーシップ（ギャップ平均▲0.9）、コンプライアンス・倫理観・モラル（ギャップ平均▲0.7）、課題発見・対応能力・企画力・計画力（ギャップ平均▲0.7）、コミュニケーション能力（ギャップ平均▲0.6）創造力・論理的思考（ギャップ平均▲0.6）にはまだ改善の余地があり、学生への指導が必要。
- (2) 本学は専門学校ではなく高等教育機関であり、今後も美容の専門技術教育は当然として、十分なコミュニケーション能力を持ち、自己理解・主体的行動力のある、将来実社会で活躍できる人材を育成して行くことが社会的にも要請されている。

(3) 短期大学は2年間という時間的制約があり、4年制大学に比し社会人基礎力育成には厳しい状況にある。特に外国語運用能力や国際感覚・異文化理解力などは、厳しい評価となっている。

このような状況下であっても、卒業生が自信を持って社会に出て行けるよう、我々教職員の一段の努力が必要である。

以上

